



病後児保育室だより

令和6年度
Vol.1



梅雨が明け、本格的な夏が始まりました。今年の夏は、例年以上の猛暑になると予想されています。暑さに負けないように、十分な栄養と睡眠をしっかりとって、免疫力を高めて元気に過ごしましょう。

知っておきたい夏の感染症



夏に流行する代表的な3つの感染症は、ウイルスによっておこる感染力の強い病気です。これらのウイルスには有効な薬がないので、ゆっくりと休むことが一番の薬です。感染すると、回復した後、便から2～4週間ウイルスを排泄するため、おむつ等の排せつ物の取り扱いに注意しましょう。また、アルコール消毒の効果が低いともいわれているため、予防にはこまめな手洗いとうがいをしっかり行なうことが大切です。

手足口病

原因

エンテロウイルスやコクサッキーウイルスによる飛沫感染・接触感染

症状

手のひらや足、口の中に小さな水ほうや赤い湿疹が現れたり、発熱することがある。

登園の目安

発熱がなく（解熱後1日以上経過し）、普段の食事ができること。

ヘルパンギーナ

原因

コクサッキーウイルスによる飛沫感染・接触感染

症状

高熱、咽頭痛、喉に水ほうや潰瘍ができる。咽頭痛がひどく飲食できないことがある。

合併症

脱水症、熱性けいれん

登園の目安

発熱がなく（解熱後1日以上経過し）、普段の食事ができること。

咽頭結膜熱

原因

アデノウイルスによる飛沫感染

症状

39℃以上の発熱と咽頭炎が3～7日続く。眼症状として眼の充血やかゆみなどの結膜炎症状が現れる。

登園の目安

主な症状（発熱・咽頭炎・眼の充血）が消失してから2日を経過するまで。

夏風邪は脱水に注意！

口の中やのどの痛みが強く、食べたり飲んだりするのを嫌がるお子さんも多いと思います。ゼリーやアイスクリームなどの、のどごしの良いものを少しずつ食べたり、脱水にならないように水分だけでもとれるようにしましょう。



冷たいもの・やわらかく飲み込みやすいもの

ゼリーやプリン、アイスクリームなどの冷たいものは、のどの粘膜の感覚を鈍らせるので、飲み込みやすいです。のど越しがよい、うどんやおかゆも食べやすいです。



すっぱいもの

みかんやとまとなど酸味のあるものは避けたほうがよいです。



上記の疾患にかかってしまった際も、病後児保育室の利用ができます。利用基準を、それぞれに設けておりますので、詳細はお問い合わせください。

安心してご利用いただくために 病後児保育室が大切にしていること

感染予防

1ケア1手洗い、マスクや予防衣の装着、疾病に合わせた消毒、空調管理などで二次感染の予防を図っています。

休養できる場所

体調が回復するように、お子さんにあわせて休憩時間をとっています。落ち着いた環境でゆっくりと休息をとります。

楽しい雰囲気

壁面の装飾を季節に合わせて変えています。年齢にあったあそびや工作を楽しむ時間を大切に、笑顔で寄り添うようにしています。

コミュニケーション

ご家族にお子さんの体調に合わせた療養の助言を行っています。不安な気持ちが和らぐように1日の様子を細かく記録し、お伝えするようにしています。

病後児室での過ごし方



症状や年齢に合わせて、安静を保てるように配慮した、遊びをしています。

体調に合わせて、お布団に横になって、ゆっくりと休養できるようにしています。



問い合わせ（8：30～17：00）

北本市立東保育所 病後児保育室

住所 北本市本宿7-80-1

電話 048-590-1100



利用には医師の許可と事前の登録が必要です。

